

令和7年度第3回旭川市史デジタルアーカイブ検討会 議事要旨

日 時：令和8年3月19日（木） 午後6時00分から午後7時00分まで

場 所：旭川市総合庁舎2階 臨時窓口スペース

出席者：参加者7人（50音順、敬称略）

栗田 千裕、海老名 尚、高橋 健史、谷口 雅彦、那須 敦志、

宮田 健一、森崎 真美恵

事務局3人

総務部次長 金、総務課長補佐 岡田、総務課主査 安江

傍聴者0人

議 事：1 事業の報告と今後の取組予定について

2 その他

議事1 事業の報告と今後の取組予定について

事務局から議事1について説明。参加者の発言等は次のとおり。

【参加者】

今回追加する内容はすごいと感じているが、写真について気がついた点を話したい。

現在サイトで公開している写真は、目録情報の資料種別で「写真」となっているが、画像を見ると「新聞記事」であったり、「絵はがき」として印刷されたものや、コピーのコピーと思われるものもある。

研究する側としては、どこまでが写真なのか明確にし、新聞などは「印刷」という分け方がよいのではないかと。

公開した後でも、正しい情報に整理しながら更新してほしいと思う。

【事務局】

目録情報については、所蔵元の情報を元に公開しているが、所蔵元で情報の整理を並行して行っているところもあり、整理された正しい情報は更新していきたいと考えている。

資料の整理にあたっては、国立国会図書館などの前例を参考にしたり、委託事業者に相談していきたい。

【参加者】

アーカイブの柱の1つに資料の保存・管理があり、目録情報をしっかり整理することが重要で、そこを疎かにすると資料の散逸につながってしまうため、今のお話はとても重要なことだと感じた。

事務局も大変かと思うが、出来る限り資料の収集・保存・整理に努めてほしい。

【参加者】

今回追加するコンテンツは充実した印象をもった。搭載した写真や地図の資料を使ったコンテンツは、今の方向で良いと感じる。

今後の要望としては、読み物的なコンテンツがあった方がよい。音楽大行進など旭川としてアピールしたいテーマで考えてほしい。

【参加者】

読み物的なコンテンツを考える場合、愛着・誇り・未来への市民向けのもの、観光・魅力アップといった市外向けの大きく2つの方向性があると思う。

また、その読み物を誰が書くのか、といった課題がある。

【参加者】

せっかく良いサイトが出来たとしても、それをうまく生かしていかないと勿体ない。

観光から見る視点として、費用がかかるのかもしれないが、今流行っているアイヌや第七師団が登場するアニメとコラボレーションをして、何か発信することができれば、サイトを見てもらう機会が増え、旭川への観光客誘致や、関連施設への誘客につながるのではないかと。第七師団に関連する展示施設の北鎮記念館でもコラボレーションした企画を行っていた。

タクシーの運転手に聞いた話だが、そのアニメをきっかけに旭川に観光で来た外国人もいたようだ。

このサイトは、外国語対応はしているのか。

【事務局】

今は外国語対応をしていないが、写真で風景を見るだけで伝わるものもあると考えている。

アニメとのコラボレーションの件については、権利関係の課題もあり、ハードルは高いのかもしれないが、もし北鎮記念館などの関連施設で実施される行事があれば、それと連携をして一緒に取り組む方法はあるのかもしれない。

【参加者】

すごく見せ方に工夫されており、充実してきたと感じた。

これまで多くの人々の営みがあり、それが膨大な知的財産となっているが、それらをどういった視点で取りまとめていくのか、とても大変な作業であり、その一助としてこの検討会があるのかなと感じている。

これからは、この取組をいかに広げていくかが1つのテーマであり、広報誌や行事などで広げていたり、新たな意見、新たな切り口としてアンケートを集めることも大事だと思う。

昨年10月に旭川で開催された社会科教員の全道大会でデジタルアーカイブのチラシを配付したが、学校現場でもこのサイトを活用した取組を広げていくとできればと思うし、宣伝をしながら、夢のあるサイトになればと願っている。

【参加者】

このサイトがどれくらい見られているのか、閲覧数などの統計データはあるのか。

【事務局】

閲覧数などの統計データはある。

【参加者】

東部まちづくりセンター（市内豊岡）にたまたま行ったところ、施設内にデジタルアーカイブの展示があり、驚いた。

またあるときに飲食店で並んで待っていたところ、他に並んでいた市外からの観光客と思われるお客さんが、その場所から見える煙突が何か分からず話題にしていたのを耳にして、市民にとって当たり前前の景色が、市外からだ違った視点で見えるのだと感じた。

6枚の年代が異なる地図でうつりかわりを見るコンテンツでは、以前に印刷された地図で似たようなものを見たことがあるが、川や鉄道の変遷が分かったり、昔は川で今は平地になっていることが分かるなどとても面白く、興味を持った。

【参加者】

アイヌや第七師団が登場するアニメについて、旭川も舞台の1つになっているが、今のところ実写映画化ではロケ地になっていない。

ただ、実写映画化にあたり、美術などのスタッフがよく旭川に来ており、博物館やアイヌ記念館などの関連施設を訪れ、撮影に使う服や道具などの調査をされていたり、近隣町では冬に犬ぞりのシーンを撮影されているなど、旭川の往来はあるため、いつかは旭川で実写映画の撮影をして欲しいと願っている。

若い人が歴史に興味を持ってもらうとっかかりの1つとして、アニメはよい手段なため、難しい問題はあると思うが、デジタルアーカイブで何かできたらよいと思う。

【事務局】

旭川では、様々な映画などでロケ地となり、旭川を発信していただいているため、デジタルアーカイブでロケ地の成り立ちなどを紹介できたら面白いと感じる。

【参加者】

本日もたくさんの意見があったが、意見を参考に実施するのは事務局で、意見を取り入れれば取り入れるほど事務局の作業が増えていくため、今の体制が持続可能なのか心配している。

議事2 その他

意見・提案等の発言なし

以上